

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名		公表日				
児童デイサービスホサナ		2025年 3月26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20		スペースを広く使えるように、整理整頓を行っています。	テーブルが大きすぎるので、折り畳みテーブルに変更していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	16	4	職員の配置は、勤務一覧で適切に行っています。	急な職員の休みがあるときの対応を改善していきたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20		トイレの表示や、入浴室、個室遊べるスペースなど見てわかるように字と絵で表示しています。	子供たちの目の高さに表示が無い為、もう少し表示の場所を変更します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	1	毎日の清掃を心がけています。	小上がりになっている部屋の出入りが利用児によっては使用しにくい構造になっている為改善していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20		宿題や、1人での時間を過ごせる個室を3部屋用意しています。	それぞれの個室には、音楽の部屋、ゆっくりできるようにベッドの部屋、勉強ができるように机を設置しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	16	4		計画は立てていますが、振り返りが不十分なので改善していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	2		評価表を公表し、職員にも確認して頂き、事業所に足りない事を話し合っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	5	職員ミーティングを設けています。	職員ミーティングへ参加する職員が少なく、参加する職員が決まっている為、ミーティングの時間や内容を検討いたします。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	7		外部評価の結果は、業務改善につなげています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	5	定期的な研修へ参加しています。	法人内の研修に参加できなかった際には、後日ビデオ学習や、レポートでの提出を行っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	5	支援プログラムは作成しています。	公表はこれから行っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	5	事業所内でカンファを行い、保護者の意見を分析しています。	事業所内カンファでは、できるだけ多くの職員が参加できるようにしています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20		計画書を作成後は、ミーティングや、朝礼等で全職員に報告しています。	計画書を作成する際には、児発管、看護師、保育士、児童指導員職種が参加して共通理解しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20		気企画書には必ず設定し、支援内容を分かりやすく記載しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20		担当を決めて行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20			もう少し、支援内容を幅広くしていきたいです。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	20			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20		朝礼や申し送りノートで確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20		終礼や申し送りノートで確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20		記録を細かく行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	15	5		「4つの基本」について知ってはいるものの、ちゃんと、理解していない所もあるため勉強会を持ちたいと思います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	20			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	20		担当者会議へは、児発管とその児童にあった専門職(保育士、看護師)が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	10		地域の関係機関との連携がまだまだですので、今後連携ができるようにしていきたいと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	20		年間行事予定や、学校からのお知らせ等で、スムーズにできています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	20			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	20			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	12		児童発達支援センターとのかかわりがほとんど無い為今後連携を取りたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	10	交流とまではいかないが、児童館を利用し地域の子供たちと少しの時間触れ合う機会があります。	今後、地域の子供たちと活動できるような行事を取り入れていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	18		今後参加していきたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18	2	送迎時に保護者や担任と体調についての申し送りを行っています。また、保護者さんと会えない際は、LINEやSNS等を活用しています。	利用者さんの状況を、申し送りが漏れることがあるため、申し送りノートへ記載することを徹底していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	18		家族支援体制が整っていない為、職員で保護者等が参加できる研修を整えていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20		利用前に保護者さんと運営規定や、契約書の読み合わせを行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20		利用する前に十分雑話を聞いて、児童が事業所で充実した、1日、十分なケアが行える様に	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	20			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12	8		保護者会を開催していますが、お仕事の都合等で参加が難しく、交流が出来ていません。今後は、行事を通して保護者やきょうだいの交流を行っていく計画を立てています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20		苦情があった際には速やかに対応しています。苦情委員会への報告も行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	20		毎月、事業所新聞を発行し、写真等で活動報告を行っています。	大きな行事は、
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	5		事業所のイベント時に地域住民の方ではないですが、来賓として招待しています。今後は地域の方にも声をかけて事業運営していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	5		ご家族様への周知が完全に出来ていないために今後、周知致します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	8		策定はしていますが、訓練が不十分の為、今後は、細かく訓練を行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	20			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20		食物アレルギーのある児童は、栄養課と連携し食事を提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20		法人内研修や、事業所内研修、外部の研修へ参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	20			